

○「調査結果を受け農地管理方法を検討」

(京都府与謝郡伊根町 本庄地区連絡会議)(平成30年度第2回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年10月12日(金) 14:00~17:00
- 場 所: 伊根町本庄宇治集会所
- 出席者: 小原会長、井上委員、藤原推進委員、事務局1人
※委員3人、委員以外1人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

伊根町中心部の耕地71haに1法人13認定農業者等により、ハウス野菜・水稻栽培の盛んな地域です
多面的機能交付金を活用した農地利用と農地中間管理事業を活用し40%の集積が図られています

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 利用状況調査の結果を検討。今後の対応としては、農地保全会で地域分担して農地管理方式を検討
 - ・保全管理→耕作14筆
 - ・保全管理→B分類2筆
 - ・A分類→保全管理1筆
 - ・新規保全管理12筆
 - ・新規B分類2筆 ・被災農地13筆
- 筒川農場づくり協議会について、存続の検討が必要 ※ほか、農業会議テーマ別研修の調整

4 活動結果

- 情報・意見交換 **3** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援